

向笠地区体育委員会

【組織】

（組織の概要）

向笠地区の体育関係事業は、向笠地区自治会連合会の体育委員会が行っている。体育委員会は連合会組織の中にある防犯委員会や福祉委員会など9委員会の一つである。

（組織の変遷）

- 昭和45年に向笠地区体育クラブ発足、自治会と公民館が連携して(ア)ソフトボール (イ)バレーボール (ウ)水泳 (エ)陸上競技一般 (オ)卓球・庭球 (カ)剣道 の各事業を行っていた。
- 昭和51年に「体育委員会」と名称を変更し、向笠地区住民の親睦と心身の健全育成を目的として、(ア)ソフトボール (イ)バレーボール (ウ)陸上競技一般 (エ)卓球 の各事業を行うように改めた。
- 平成元年4月1日から「向笠地区自治会体育委員会」として再発足し、各種の体育事業は、向笠地区自治会連合会の事業として行うこととなった。また、事業の目的として会則の中に向笠地区のスポーツの振興を図り、地域住民の親睦と健康増進に資することが明記された。これに伴い体育委員会の位置づけと役割が明確になった。
- 会則が改められ平成11年4月1日から実施する事業が「体育祭」「ソフトボール大会」及び「バレーボール大会」の三事業に絞り込まれた。これに伴い前記の三事業に力を傾注して体育事業を行うことになった。
- 平成15年に体育委員会の専門部に関する別定事項が制定され、同年4月1日から体育委員会の中に「体育祭部会」「ソフトボール部会」及び「バレーボール部会」の三部会が設けられ、活動することになった。



平成19年9月2日サンボス完成式典

【現在の活動状況】

向笠地区の体育事業は向笠地区自治会連合会の体育委員会が、「体育祭部会」「ソフトボール部会」及び「バレーボール部会」の三部会を設けて実施しているが、各部会とも各自治会から1名ないし2名の推薦を受けた者によりメンバーを構成している。各部とも部長を選出し、その部長の下に何回もの会議を重ねて企画を練り、資料を作り、会場設営などの事前準備作業を行い、大会等を開催している。

毎年ソフトボール大会は5月中旬の日曜日に、バレーボール大会は6月20日前後の日曜日に、また、体育祭は9月の第1日曜日に開催しているが、部会員の努力でいずれの大会等も選手はもとより応援団としての地域住民の参加も多く、それぞれの競技を楽しんでいただいている。また、大会終了後には各自治会ごとに反省会と称して情報交換会（宴会）を開催して親睦を深めている。正にスポーツを通じての住民相互の親睦と健康増進に資するという目的が十分に達成できていると自負しているところである。

参考までに直近のそれぞれの大会の様態を申し上げますと、今年のソフトボール大会は5月17日と24日（予備日）の両日とも雨天のため、残念ながら中止となってしまったが、昨年は10チームが参加し熱戦を繰り広げた。なお、ソフトボール大会は以前、岩田地区の天竜川運動公園で実施していたが、長年の悲願が実り、向陽調整池の中に運動グラウンド「サンボス」が完成し、使用可能となったことから平成19年度から「サンボス」で実施している。

バレーボールについては、6月21日に向陽中学校体育館で開催され、16チームが参加し、手に汗を握る熱戦を繰り広げた。上位3チームは8月23日の向陽ブロック球技大会（向笠、大藤及び岩田の三地区合同のバレーボール大会）に向笠地区の代表として出場することになっている。

体育祭については、9月6日に開催することになっている。ちなみに昨年は9月7日に「サンボス」で開催し、13種目の競技を実施した。競技は子どもから高齢者まで楽しめるように工夫され、住民の半数近くが参加する盛大なイベントとなった。

体育委員会はこれ以外にもいろいろな体育事業を行っているが紙面の都合で割愛する。

このように各種の体育イベントが継続的に実施できるのは、役員やメンバーのやる気と責任感に負うところが大きであり、感謝している。今後も向笠地区の体育事業の発展に尽力してくれることを大いに期待しているものである。（連合会長 安間孝美）